

### 社会福祉施設連絡会 定例会

藤井寺市社会福祉施設連絡会が、12月13日(水)午後2時から、社会福祉法人そうび会 惣社保育園(惣社1丁目)で、会員等27名が出席して開催された。

奥田益弘会長は、冒頭の挨拶の



冒頭の挨拶をされる奥田会長  
惣社保育園



社会福祉施設連絡会が開かれた  
惣社保育園2階ホール

中で、11月16日に開催された生活困窮者自立支援及び生活保護部会(座長・宮本太郎 中央大学法学部教授)で、生活困窮者自立支援制度及び生活保護制度の見直しの視点(案)と論点整理(案)が示されたと説明。見直しの視点

(案)では、地域共生社会の実現、早期の予防的な支援、困窮の連鎖を防ぐ、高齢の生活困窮者に着目した支援、信頼による支え合い、これまでの部会の中で出された意見等が論点整理(案)として示されたことに触れ、手厳しい意見が出されており、中間的就労事業と報告された。特に中間的就労事業は、連絡会施設で積極的に取り組んでいただきたいと述べられた。

◆地域福祉活動計画策定について  
事務局大東氏から、藤井寺市社会福祉協議会が策定する第3期地域福祉活動計画(平成30年4月から)について進捗状況の説明があった。



地域福祉活動計画を説明する事務局大東氏(左側)

午前中に作成委員会が開催され、9月〜10月にかけて、福祉団体、職員、ワークショップで意見を集約し、①つながりをつなぐ、②災害への意識を高めるを二大柱として作成することになった。①は、あらゆる社協や包括とのつながりを密にすること。②は、災害ボランティアのリーダー養成に重きを置くことを検討している。今後1月末に素案を作成し、次回の連絡会に提示できると思うと述べられた。

### 施設見学

社会福祉法人そうび会  
惣社保育園  
惣社1丁目3-28

### 安心して遊べる環境と預ける安心感

社会福祉法人そうび会(堺市東区)は、1993(平成5)年に設立され、「清く、正しく、明るく」を基本理念として、社会に貢献し、社会福祉法人としての責任を果たしています。同法人は、社会福祉の根本である「人間尊重」の理念に基づき活動しており、高齢者福祉のみならず、すべての人々の幸せを願いつつ医療・保険・教育分野でも、地域での生活を支える体制づくりに取り組んでいます。その一環として保育事業も展開、児童の愛護にも力を注ぎ、2003(平成15)年4月に0歳児〜5歳児までを対象に惣社保育園(惣社1丁目)を開設、今年には154名の園児を預かっているとのこと。



施設の説明をされる野村園長(中央)

同園の野村誠二園長は、『安心して遊べる環境と預ける安心感を保育理念とし、思いやりの心を大切にして子育てを楽しむ保育方針を掲げ運営を行っています。特別保育として乳児保育、一時保育、延長保育、障害児保育など、家庭の事情に合わせて、保護者や児童をサポートする体制を作っています。また講師を招いての「科学遊び」「体操教室」「英語で遊ぼう」の実施や、園内の畑での「野菜作り」など多様な遊びや体験を通じて、生きる力や思いやりの心を育んでいます。』と述べられた。



# とっくり委員会報告

とっくり委員会が、11月30日午後2時から藤井寺市社会福祉協議会2階講座室で、会員など13名が参加して開催された。

特別講義は、救護施設について、賀光寮の野崎浩司支援課補佐から施設の概要や賀光寮の運営につき説明を受けた。



説明をされる野崎支援課補佐（左側）ほか賀光寮の皆様

救護施設は、福祉事務所から措置で利用につながり、入所対象者の規定はなく、高齢のホームレスや精神障がい者の利用が増えている。

賀光寮は、利用者がスムーズに自力での地域生活に移行できるように地域に用意した住居に住ませ、単独で日常生活を送れるよう訓練（食事、清掃、洗濯、買い物など）を行う居宅訓練生活事業を行っているとは結ば

れた。

次に事例検討会に入り、アセスメントシートを基に、藤井寺特別養護老人ホームの西矢隆史CSWから、若年稼働年齢層の出口である就労支援の難しさにつき報告。就労に必要な携帯電話が支払滞納で停止状態となっている対象者や、ネットの就労情報等を当てにしない対象者や、履歴書が書けない対象者等の事例を説明。市生活支援課の西村安彦氏は、自立支援の就労担当者が、市内の工場などに就労斡旋をしていることを報告された。地域に密着した就労活動は素晴らしいとの声も上がり、次回以降に若者の就労支援を学ぶことにする。



とっくり委員会参加者  
藤井寺市社会福祉協議会講座室

藤井寺特別養護老人ホームの地村真人CSWから、20歳代の生活保護受給者が3カ月家賃滞納し、退去の期限が迫っていると藤井寺市生活支援課から

連絡を受け、自宅を訪問し支援を開始したことを報告。

対象者との面談で、家賃滞納だけでなく、光熱水費も滞納し、ガスが止まり緊迫性が高まっていることが分かった。

対象者は就労先が決まったことで、現居宅で猫と住み続けたとの意向を話す。その為に、早急に受託管理会社と支払い期日の延長交渉を行うこと。就労を開始することを確認し、滞納していたガス代を支援することになった。

市担当CSWと支援会議を行い、対象者と家賃滞納解消を共有し就労する事を説明し、分割支払いで現居宅での生活を営めることになった。所持金が少なく、満足に食事を摂っていないとのこと、施設食堂で食事支援を提案したことを報告された。

属性で判断するのではなく、当事者に必要な支援を迅速に行うことが、社会貢献事業の柔軟性の良さであり、対象者の多くは、金銭管理や衛生環境に課題を抱えており、複合的に支援が必要であることを参加者で共有した。

## 赤い羽根街頭募金

事務局大東岳一氏から、街頭募金活動について報告があった。11月10日（金）午後6時から



街頭募金活動（11月10日）



藤井寺駅周辺で実施し、会員30名が市民の皆様が協力のおかげで2万334円の募金が集まった。とお礼の言葉があり、募金箱設置施設も増加していると述べられた。

## 連絡会懇親会



連絡会終了後、藤井寺駅前の「半ずし」で、懇親会を開催。

連絡会として参加したメンバーや募金活動に参加のお礼の言葉があり、会員同士で和気あいあいと談笑。顔の見える関係作りからスタートした連絡会が、活発な活動を連携できるようになってきた。

### とっくり委員会のご案内

日時 1月25日（木）  
14時～15時30分  
会場 藤井寺市福祉会館

この子たちが、この街を好きになるよう、ガンバローと心に誓う。

### 連絡会のご案内

日時 2月14日（水）  
14時～15時30分  
会場 藤井寺市福祉会館

連絡会の会場となった惣社保育園を始めて訪ねる。洋風の建物、中に入ると、ちっちゃな椅子やトイレが目に入る。（笑）